

★神崎市地球温暖化対策実行計画の実績報告(令和2年度)について

平成29年度に策定した「神崎市地球温暖化対策実行計画(事務事業編)」で、市の管理する施設では、2022年度までに二酸化炭素(CO<sub>2</sub>)排出量の『5%以上削減』(平成25年度実績値を基準)、2030年度までに二酸化炭素(CO<sub>2</sub>)排出量の『10%以上削減』(平成25年度実績値を基準)を目標として掲げ、省エネルギーに取り組んでいます。

年度	平成25年度(基準年度)	2022年度(目標年度)	2030年度(目標年度)
温室効果ガス総排出量(t - CO <sub>2</sub> )	3,649.6	3,456.8	3,274.3

令和2年度の温室効果ガス総排出量は2,108.1トン(t - CO<sub>2</sub>)でした。

○温室効果ガスの総排出量

- ・総排出量は、基準年度(H25)比で約1,542トン減少しました。
- ・基準年度(H25)からの増減比率は42.2%減となりました。

年度	基準年度(H25)	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
温室効果ガス総排出量(t - CO <sub>2</sub> )	3,649.6	2,966.0	2,782.8	2,077.2	2,195.8	2,108.1	
基準年度(H25)との比較	排出量(t - CO <sub>2</sub> )	—	▲683.6	▲866.8	▲1,572.4	▲1,453.8	▲1,541.5
	増減率(%)	—	▲18.7	▲23.8	▲43.1	▲39.8	▲42.24

○エネルギー別排出量の比較

発生区分	平成25年度(基準年度)排出量(t - CO <sub>2</sub> )	令和2年度排出量(t - CO <sub>2</sub> )	対基準年度増減比率
二酸化炭素	3,644.0	2,103.1	▲42.3%
メタン	0.2	0.1	▲50.0%
一酸化二窒素	3.9	3.3	▲15.4%
HFC	1.6	1.6	0%
合計	3,649.6	2,108.1	▲42.2%

○二酸化炭素排出量の減少理由

電気使用量に関して基準年度(H25)と比較すると電気使用量は増加したものの【参考1】、電気事業者の温室効果ガス排出係数が低下したことで排出量そのものは大きく減少しています。【参考2】

【参考1】電気使用量(神崎市役所及び関係施設)

年度	基準年度(H25)	令和2年度
使用量(kWh)	5,105,664	5,441,457

【参考2】電気事業者(九州電力(株))の温室効果ガス排出係数

年度	基準年度(H25)	令和2年度
排出係数(t - CO <sub>2</sub> / kWh)	0.613	0.365